

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 10. 03

下水道機構の『新技術情報』 第15号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

天高く、乙女？肥ゆる秋☆朝夕は過ごしやすくなり、胃袋も秋の気配を感じているよう
で、機構近くのパン屋さんの名物「栗あんぱん」の誘惑に今日も負けてしまいました。

みなさんの職場の近くにも、おすすめスイーツありますか？

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第15号をお届けします。

業務に、Tea Breakにご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・10月15日(土)から19日(木)の期間で米国ロサンゼルスコンベンションセンターにて開催される WEFTEC2011 において機構の研究成果を発表します

★機構の動き

・「技術マニュアル活用講習会」、「技術サロン」の参加申込を受付中です！

★Tea Break

・水屋の富 (下水道亭機構さんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

・9月29日付けの下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション (最新の話です)

●来月10月15日(土)から19日(木)の期間で米国ロサンゼルスコンベンションセンターに

て WEFTEC2011(the Water Environment Federation's Annual Technical Exhibition and Conference)が開催されます。本国際会議は、上下水道技術に係る広範囲な技術分野で

世界各国の研究者、技術者が集い、それぞれの成果を発表し合い議論をする場です。

下水道機構からも4人（口頭発表1人、ポスター発表3人）が参加します。下水汚泥からのリン資源化技術開発、下水道設備の診断技術開発、下水道管路の技術開発、浸水対策の技術開発について発表してきます。帰国後には、その成果を紹介したいと思いますので楽しみに！

機構の動き （機構の行事予定です）

●10月12日(水)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会（東京会場、場所：機構会議室）

講習会の内容、参加申込はこちら（以下の14、21日も同じ）

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-06.htm>

●10月13日(木)17:00～18:00

第297回技術サロン（場所：機構会議室、講師：国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室長 五道仁実氏、テーマ：「XバンドMPレーダの整備、活用について」）

参加申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-297.htm>

●10月14日(金)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会（東京会場、場所：機構会議室）

●10月21日(金)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会(大阪会場、場所：大阪科学技術センター)

●10月24日 13:30～16:30

下水道機構事業報告会@アイビーホール(東京都渋谷区)

★10月5日(水)

平成23年度下水道事業担当者講習会(技術系)（場所：山形市「山形グランドホテル」）にて当機構研究第二部の亀谷主任研究員が出席し、「雨天時侵入水発生領域の絞り込みに関する一手法について」講演します。

★10月7日(金)14:00～17:10

群馬県庁に当機構の資源循環研究部、研究第一部及び研究第二部の職員が出張し、技術説明会（内容：「汚泥減量化技術」、「ストックマネジメント手法を用いた簡易な計画策定」、「リアルタイム雨水情報ネットワークシステム」等）を行います。

★10月11日(火) 13:30～17:30 NPO法人21世紀水倶楽部「ディスプレイに関するシンポジウム」（場所：機構8階中会議室）

全体討論のコメンテーターとして当機構研究第一部の森田部長が出席します。

★10月15日(土)～19日(木) WEFTEC2011(米国ロサンゼルス)

当機構から 4 名が参加し、下水汚泥からのリン資源化技術開発、下水道設備の診断技術開発、下水道管路の技術開発、浸水対策の技術開発について口頭発表（1 人）、ポスター発表（3 人）を行います。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●水屋の富 （下水道亭機構さんからの投稿です）

落語に「水屋の富」という噺があります。

噺は、水屋という職業の人が富くじを買って、千両が当たりました。家に持ち帰ったものの、周りの人が皆盗人のように見えてしまい、隠して置いてあるお金がちゃんとあるかどうかいつも確認をして、心配で心配で夜も眠れない日々が続きました。その状況を見ていた隣の住人に、ある日そっくり盗まれてしまい、水屋が一言「これで明日から寝られる。」というオチの古典落語です。

水屋という職業は、水をくみ取って販売して歩く職業です。長屋の台所にある水かめに溜めてある水です。毎日、雨・風・雪、関係無しに重い桶を前後 2 桶担いで、価格は 4 文。かけそばが 16 文ですので、4 分の 1 の価格になります。神田上水と玉川上水の大きな 2 つの水系によって町民たちは水を得ていました。

玉川上水の 1 つはお城へ入り、番町や麴町、旗本屋敷、武家屋敷町へ引き込まれていたようです。神田上水の場合も 1 つはお城へ入り、分水が町人地へ配られていたようです。関口町に関を設け分岐、お茶の水まで引っ張ってきて、それをお城へ入れるためにお茶の水の上を渡します。そこが水道橋です。関口町あたりから江戸市中に暗渠となって網の目のように入ってきたものを縦に掘り抜いて、それから供給していくというものだったようです。

水道をそのまま関口町のような榭という取水口からくみ取って販売していたのが水屋です。関口町は江戸時代の町名は関口、水道町と関口水道町があったそうです。現在の文京区関口になります。

おあとがよろしいようで。

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

●掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション (2011.9.29 付、国からの最新情報です)

送信元： 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

今週は大阪市と下水道機構より情報を頂きました。大阪市では東日本大震災を教訓として「地震津波対策基本プラン」を取りまとめたとのこと。いやあ、さすがに動きが速い。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- 「下水道ストックマネジメントの手引き」ついにとりまとめ！【下水道事業課】
- 大阪市「地震津波対策基本プラン（下水道編）（案）」とりまとめ
- ネットから技術マニュアルのダウンロードができる！機構情報のメール配信も!!
【下水道機構】

☆関係者必読の書「朽ちるインフラ～忍び寄るもうひとつの危機～」根本祐二著

=====

○「下水道ストックマネジメントの手引き」ついにとりまとめ！【下水道事業課】

国交省では、平成 21 年度より「下水道施設のストックマネジメント手法に関する検討委員会」（委員長：滝沢智東京大学大学院教授）において、昨年度中の手引きのとりまとめに向けて検討を進めてきました。震災の影響で一時作業を中断していましたが、このたびとりまとめ、ようやく公表の運びとなりました。明日（30 日）より国交省下水道部ホームページにて公表します。地方公共団体におかれては、積極的なストックマネジメントの導入を図って頂きたいようお願いします。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000033.html

※担当者談「とりまとめに当たっては、読みやすくなるよう心がけたつもりです。是非、多くの方に読んでいただきたいと思います。b y ヤッシー」

●大阪市「地震津波対策基本プラン（下水道編）（案）」とりまとめ【大阪市】

大阪市建設局では、「東日本大震災を踏まえた緊急ドラフト Ver1.0 大阪市建設局・地震津波対策基本プラン（下水道編）（案）」を取りまとめ、ホームページで公表をしております。

この中では、東日本大震災を教訓とし、自然がもたらす不測の事態に対し、どのように適切に対処するかという事後対策の重要性から、「事業継続計画（BCP）」の視点から、震災後の迅速な応急・復旧対応に寄与するソフト重視の総合対策を基本方針と

しています。

あくまでも、本プランは Ver.1.0 であり、今後の国の中央防災会議と本市全体としての方針をはじめ、様々な機関における調査検討や知見を集積・導入し、必要に応じて内容の見直し補強を行っていくこととしています。詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000139955.html>

● ネットから技術マニュアルのダウンロードができる！機構情報のメール配信も!!

【下水道機構】

下水道機構では、今年の5月からネットを活用した新たな情報提供サービスを開始しています。

これにより、地方公共団体等の皆様であれば、当機構で今まで作成してきた技術マニュアル等の全文を、ネットから閲覧・ダウンロードすることが可能になっています。技術審査証明書も全文の閲覧が可能です。また、6月からは、下水道技術等に関する当機構の最新情報のメール配信も行っています。

これらのサービスについては、今後、情報検索システムの稼働や、ビジュアル化したニューズレターの配信も行うなど、順次内容を充実していく予定です。

なお、ご利用にあたってはメールアドレス等の Web 登録が必要ですが、サービス自体は無料です。また、登録は組織の代表アドレスでも情報を直接必要とされる部署、個人単位でも、複数登録が可能となっています。

詳細は、次のアドレスからご覧いただけますので、是非ご活用ください。

URL : http://www.jiwet.jp/melmaga_info.htm

☆関係者必読の書「朽ちるインフラ～忍び寄るもうひとつの危機～」根本祐二著

著者は東洋大学 PPP 研究センター長で、PPP（公民連携）分野の第一人者。本書では、社会資本の老朽化をいつの間にか忍び寄る「ゆるやかな震災」であると喝破する。一方で「老朽化は地震や津波などと違って確実に起きる。100%確実に発生が予測できるということは、100%確実に避けることができるということ。その知恵と力が日本人にないはずはない」と我々インフラ担当者を励ます。日本経済新聞出版社、¥2,000（税別）。

=====

【参考情報】

◆ 台風猛威 各地に爪痕 宮城 <9/23 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/miyagi/news/20110922-OYT8T01426.htm>

- ◆ 県議、仮置き「汚染灰」視察 長期的な保管法を / 栃木 <9/23 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/area/tochigi/news/20110923ddlk09040141000c.html>
- ◆ 下水道つなぎ減災構想 <9/24 朝日新聞>
http://mytown.asahi.com/chiba/news.php?k_id=12000761109240001
- ◆ 下水処理場の汚泥、放射能濃度は低下傾向 茨城 <9/28 MSN 産経ニュース>
<http://sankei.jp.msn.com/region/news/110928/ibr11092802150004-n1.htm>
- ◆ 8000ベクレル以下受け入れも 放射性物質含む県外廃棄物 長野 <9/28 中日新聞>
<http://www.chunichi.co.jp/article/nagano/20110928/CK2011092802000114.html>
- ◆ 水環境ビジネスで草津に総合研究機関 知事が設置に意欲 滋賀 <9/28 中日新聞>
<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20110928/CK2011092802000118.html>
- ◆ 大崎市の下水汚泥、放射性セシウムの最大値は169ベクレル / 宮城 <9/28 毎日新聞>
<http://mainichi.jp/area/miyagi/news/20110928ddlk04040188000c.html>
- ◆ 中間貯蔵施設 8都県に 汚染土壌・焼却灰 環境省要請へ <9/29 朝日新聞>
<http://www.asahi.com/national/update/0928/TKY201109280551.html>
- ◆ シンク下で生ごみ破砕 広まるかディスポーザー <9/29 東京新聞>
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/living/life/CK2011092902000093.html>
- ◆ 下水道事業の手引 平成23年版 好評発売中
http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部
 〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
 TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
 ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

